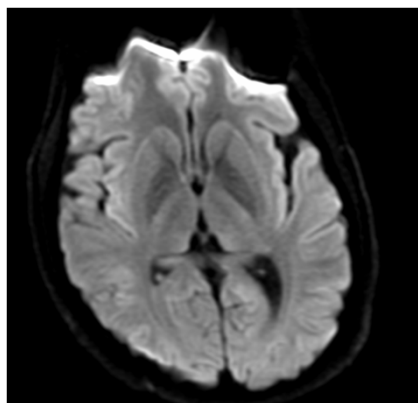


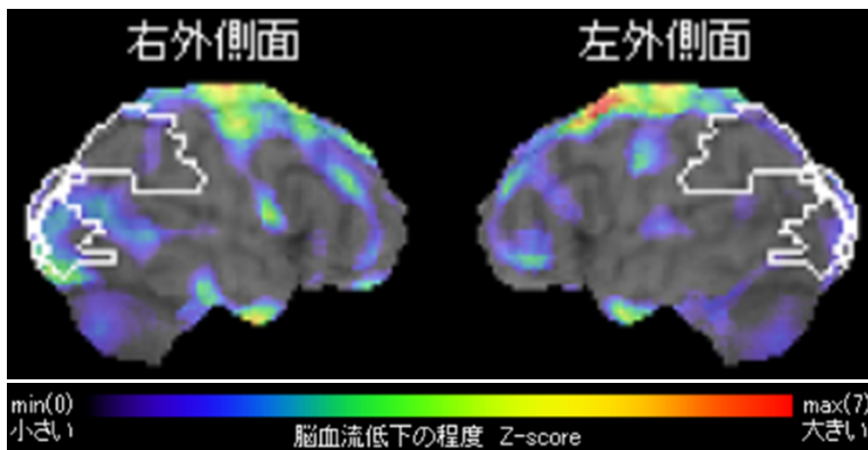
プリオン病における画像診断基準の検討

研究分担者: 徳島大学大学院医歯薬学研究部・放射線科学分野 原田 雅史

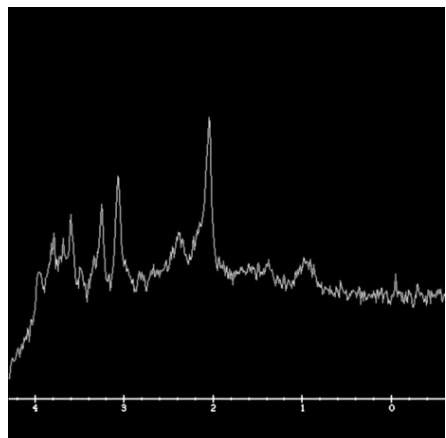
P102L GSS症例 31歳 男性



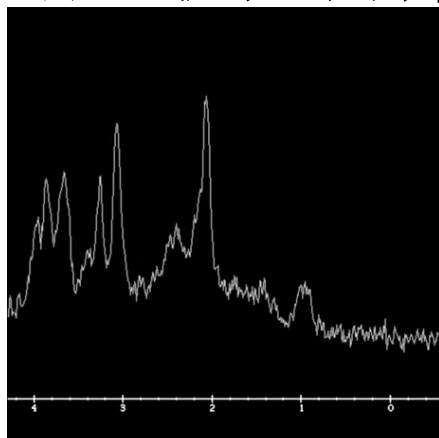
DWI



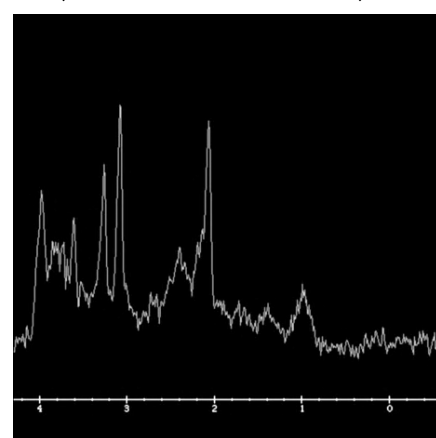
脳血流低下部位 (IMP-SPECT)



MRS (SMA)



MRS (基底核)



MRS (小脳)

解説

1. GSS症例ではDWIでの異常信号は不明瞭である。
2. IMP-SPECTによる脳血流シンチで、SMAを含む高位円蓋部の血流低下を認めた。小脳の一部にも血流低下がみられる。
3. MRSでは、SMAと小脳におけるNAAの低下とmInsの上昇を認める。
4. 脳灌流とNAAの低下部位は、形態変化に先行し、病態と相関性があることが示唆された。